



# がくとう

令和4年9月1日発行  
校長 伊藤 栄司  
9月号 No5

## こどもまんなか社会

校長 伊藤 栄司

長い夏休みが終わり学校に元気な子供の声が戻ってきました。5年生のハケ岳移動教室、6年生の日光移動教室も無事に終わり、以前のように本物に触れ学ぶ機会が増えてきたことを実感します。まだまだ、新型コロナウイルス感染拡大を防止するための対策は続きますが、2学期以降もできるだけ子供たちが本物に触れ学ぶことができる機会を大切に指導していきます。

### こども家庭庁

昨年12月に「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」が閣議決定され、「こども家庭庁設置法」と関係法律の整備に関する法律が今年6月の通常国会で成立しました。背景には、少子化の進行や児童虐待、子供の貧困、ヤングケアラーなど、子供の育成をめぐる環境の悪化が考えられ、子供の視点に立った新しい行政組織の誕生に期待しています。

基本方針には「常に子供の最善の権利を第一に考え、子供に関する取り組み・政策を我が国社会の真ん中に据え(こどもまんなか社会)子供の視点で子供を取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、子供の権利を保障し、子供をだれ一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しする。」と書かれています。

### 子供の目線に立った政策

特に注目したい点は、「子供や子育てをしている人の目線に立った政策をつくる」とことと「子供政策に関する総合調整権限の一本化」にあります。

以前、保育園に子供を入れることができなかつた保護者の方の SNS への投稿が大きな話題となりました。表現方法については賛否が分かれますが、子育ての困り感を受け止めてくれる場所がなかつた事実は課題として残りました。今後は、こども家庭庁が子供に関する調査・データをしっかり政策に活かしていくとの方針もあり、大きな社会問題になる前に解決できるのではないかと期待しています。

また、縦割り組織と言われる行政の中で「こども」「子育て」に関する権限を一本化したことも大きな前進です。例えば、子供の困難に関する内容では児童虐待は厚生労働省、子供の貧困問題は内閣府、非行問題は警察庁・法務省と分かれています。事務仕事を移管したりこども家庭庁が司令塔としてリーダーシップを発揮したりすることで問題の早期解決や未然防止ができるようになります。

現在はこども家庭庁設立準備室が子供向けのパンフレット作成等を行い「こどもまんなか社会」を目指す取り組みを進めています。

### 東京都こどもホームページ

一方、東京都では国の動きとは別に、子供目線から政策展開のための特別な部署を今年度の4月に設置しました。こちら、国と同じように子供の目線に立った政策を実施しています。取り組みの一つが「東京都こどもホームページ」です。「バーチャル社会科見学」や「発見!東京都の仕事」など、子供たちにわかりやすく東京の魅力を伝える工夫が随所に見られます。デザインや使い勝手などについて子供たちから意見を募り更新しているので、授業でも使ってみたくなる素敵な内容に仕上がっています。

国や都の新しい組織の発足は、子供たちへの支援方法を見直したり官民の連携を強化したりするなど、今まで不十分であった政策見直しへとつながります。新しい組織の発足はありませんが、学校も常に新しい視点で子供たちのためにできることを考え、実施していきます。

### 9月の予定

1日(木)始業式 D時程	13日(火)発育測定(中)	22日(木)避難訓練
2日(金)給食開始	14日(水)集会 発育測定(高)	23日(金)秋分の日
5日(月)学年朝会 安全指導日 委員会活動	校外学習(4-1、4-3)	26日(月)朝会
6日(火)音楽の街狛江	15日(木)校外学習(4-2)	教育実習
10日(土)学校公開 D時程 セーフティ教室	19日(月)敬老の日	28日(水)集会
12日(月)朝会 発育測定(低)クラブ活動		校外学習(2)

## 9月の生活目標：「規則正しい生活をしよう」

夏休みが終わり、2学期が始まりました。感染予防に努めながら、長い休みにしかできないことを経験したことと思います。一方で、遅い時間まで起きていたり、朝遅くまで寝ていたり、生活のリズムを崩してしまった子供もいるのではないのでしょうか。

9月の生活目標は、『規則正しい生活をしよう』です。生活リズムの乱れは、体調不良や集中力の低下に繋がります。心身ともに充実した2学期を送るために、「早寝、早起き、朝ごはん」を心掛け、夏休み前の規則正しい生活に戻すことができるようご家庭でもお声掛けください。

(生活指導委員会：芦川孝志郎)

### 5、6年生 移動教室

5年生は、7月27日(水)、28日(木)の二日間でハケ岳へ、6年生は、8月23日(火)、24日(水)の二日間で日光へ行きました。それぞれ、移動教室に行った後で書いた感想の一部を紹介いたします。

#### 【5年生 ハケ岳移動教室の感想】

##### 1組(A・J)

特に印象に残ったのは命の学習とキャンプファイヤーです。命の学習では滝沢牧場の飼育員の方から話を聞いて動物に直接触れて改めて、「いただく」ことに感謝して食べないといけないなと思いました。キャンプファイヤーでは皆とゲームをして楽しかったし、火を囲んで遊ぶという経験がなかったのでとても印象的でした。

##### 2組(M・J)

移動教室では自然のすごさについて考えたり友達と協力したりすることが大切なんだと思いました。狛江市とは違い緑が多かったです。歩いても歩いてもゴールの展望台まで遠かったけれど、その分たどり着いたときの達成感がすごかったです。とても楽しかったです。

##### 3組(N・K)

牧場での命の授業では、いつも普通に食べているご飯への感謝を改めて知った。ハケ岳では、空気がきれいで山には霧がかかっているそれもまたきれいだった。狛江市にはない高い山や生き物を見ることができて感動した。

#### 【6年生 日光移動教室の感想】

##### 1組(I・S)

日光では、たくさんの自然や動物に触れることができました。東京では見られない野生の鹿に会ったり、ハイキング中にはたくさんの木々があったりしました。華厳の滝は遠くで見ても迫力があってすごかったです。部屋での生活は友達のいいところをさらに発見できて有意義な2日間になったと思います。

##### 2組(O・D)

日光に行って心に残った事は、滝を見たことです。特に華厳の滝と竜頭の滝です。華厳の滝は迫力があって凄かったし、怖かったです。竜頭の滝には、違うすごさがあって、横幅が広くてびっくりしました。また日光に行く機会があれば家族で行きたいです。

##### 3組(T・R)

今回の日光移動教室では、大自然の色々な風景を実際に見て感じる事が出来てとても心が清らかになりました。東京とはまた違う澄んだ空気が綺麗でした。特に大迫力の華厳の滝では、想像以上の水しぶきと音で驚きました。そして、宿舎での集団生活では、常に早く行動することを意識しました。「協力」ということも意識しました。

##### 4組(I・A)

日光では東京とは全く違った空気を味わえてとてもよい経験になりました。日光東照宮に行って歴史を学んだこともよい体験でした。世界遺産に登録されているような歴史的な場所に行ったことがなかったため、神聖さを感じました。準備を手伝ってくれた親、企画をしてくださった先生方、バスガイドさんなどのお陰だと思います。